

視聴覚教育

NO 141
 発行日 63.3.15
 発行 岡崎市AVL
 編集 編集
 広報委員会

県自作教材コンクール

「鬼祭り」が優良秀賞

昭和六十二年度愛知県自作教材コンクール入賞作品発表会が、二月十九日（金）愛知県教育センターで開催された。同コンクールへは、岡崎市の十作品を含め、県内各地から百五十四点の応募があったが、審査の結果、「鬼祭り」が優秀賞を受賞した。

ビデオ作品「鬼祭り」は、祭りの中心的役割を果たす十二人衆、鬼面をかぶる厄年の人、精進料理を作る里人、松明を持って走り回る若衆など、古くから伝わる鬼祭りを受け継ぎ、守っていく里の人々の姿を描いたものである。以下、入賞作品・製作者は次の通りである。



● 優秀賞

ビデオ「鬼祭り」・・・（対象 一般）

視聴覚ライブラリー 現職教育社会科部

● 優良賞

ビデオ「一色のうなぎ養しよく」・・・（対象 小五）

視聴覚ライブラリー 現職教育社会科部

ビデオ「内田さんのぶどう作り」・・・（対象 小五）

視聴覚ライブラリー 現職教育社会科部

八ミリ映画「矢師」・・・（対象 一般）

視聴覚ライブラリー

● 佳作

ビデオ「しめ縄作り」・・・（対象 一般）

視聴覚ライブラリー 現職教育社会科部

ビデオ「EXCUSE ME」・・・（対象 中一・三）

現職教育英語部

ビデオ「岡崎にもマグマがあった」・・・（対象 中三）

現職教育理科部地学サークル

ビデオ「佐久島を作った海」・・・（対象 中三）

現職教育理科部地学サークル

一色佐久島中学校

岡崎の視聴覚教育の一年

視聴覚ライブラリーが、太陽の城に移転して二年目、業務も軌道にのり、多くの成果を挙げて岡崎の視聴覚教育の健在ぶりを示した年であった。

本年度、小学校三十七校にパソコンが設置され、これでも内小中学校全てのパソコン配置となった。高度情報化社会、ニューメディア利用の日常化等の世情に対応し、本市においても、パソコン・アナライザー委員会と視聴覚部パソコン委員会の協力のもと、教育におけるコンピュータの有効活用を目指して研究を進めている。教研集会においても、パソコンの効果的な活用事例がいくつか報告され、研究の深まりを確かな手ごたえとして感じた。

一方、全国視聴覚教育論文では、藤川小学校が奨励賞を、現職教育視聴覚部が、全国の中から一団体のみ視聴覚教育推進に功労のあった団体に贈られる森戸賞を受賞した。また、全国視聴覚教材コンクールにおいて、八ミリ映画「ねりがしら」と、ビデオ作品「オイカワの夏」の二本が文部大臣賞を受賞し、他二本のビデオ作品も入賞。全国放送教育論文でも二点入賞という、全国レベルでの活躍が目立った年でもあった。

ライブラリーでは、主な行事をビデオで記録して

り 編集の後、毎日一時間、週一番組を市役所内で放映

り しています。是非ご覧下さい。また、お持ちのテー

プにダビングサービスもしていますのでご利用下さ

い。

リ 家康行列 三十分

ラ 中学校総合体育大会 三十分

グ 岡崎観光夏まつり 三十分

イ 秋の市民まつり 三十分

ラ 岡崎のハイモニー 六十分 他

今年度の最終配達日 三月十五日(火)

来年度の配達開始日 四月十二日(火)です。



月報「視聴覚教育」編集後記

岡崎の視聴覚教育の質の高さを伝える実践報告、これからの活動の指針となる貴重な御意見を各校諸先生方や社会教育関係の方々よりいただいた。皆様のご協力に深く感謝いたします。

(広報委員会)
